

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	妊産婦・乳幼児等の保健指導事業			シート番号	014-018
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども育成
				課	評価責任者(課長名)
					橋本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	子育て世帯への支援と負担の軽減	有
	2	事業開始年度	昭和 15 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	母子保健法			
	4	関連計画	堺市子ども・子育て総合プラン			
5	事業実施の経緯	S15年、保健師による家庭訪問が開始される。S23年堺市に保健所ができ、妊産婦・乳幼児保健指導として引き継がれ、低出生体重児等訪問や乳幼児健康診査後、発達等に課題のある児の家庭訪問や保護者への相談、障害児の親の会の支援や、地域に出向いた乳幼児相談事業を実施。H2年母子衛生研究会に委託し、父の育児参加を促すため「パパの育児教室」を開始。さらに、妊娠期から育児期の切れ目のない支援をより充実させるため、H27年度から「助産師による育児ひろば」を実施。H28年度から市内の助産所に、H30年度からは本市に隣接する地方公共団体の区域内に存在する助産所に委託し「宿泊型産後ケア事業」を実施する。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	妊産婦・乳幼児と保護者等					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	妊産婦や乳幼児、保護者等が正しい知識を身につけることで、健康を保持・増進し、保護者が安心して子育てをすることで子どもが健やかに成長発達できるよう支援する。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な対象を早期に把握し、適切な支援につなげる。(妊娠届出時の全件面接や関係機関との連携など) ・妊娠期、乳幼児期に保護者や家族を含めた個別の保健指導や育児相談を実施。(保健師の家庭訪問、新生児訪問、助産師による育児ひろば、宿泊型産後ケア事業、妊婦や乳幼児への歯科、栄養相談等) ・集団を対象に健康教室や情報提供・啓発等の実施。(パパの育児ひろば、妊婦教室、離乳食講習会、学校や地域と連携した思春期教育、地域での健康教育など) ・子育ての孤立予防、仲間づくりの支援。(赤ちゃん広場、育児サークル、同じ悩みをもつ方の集いなどへの支援) 					
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 公益財団法人・母子衛生研究会 一般社団法人・大阪府助産師会 産前産後ケアセンター 高石市立母子保健センター あいっこ助産院						

Ⅲ. 投入量

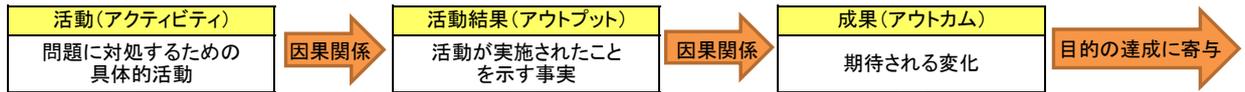
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
	事業費 (a)	千円	27,065	23,781	27,265	27,337	27,121	24,547	29,892
11	主な事業費内訳								
	謝礼金	千円	14,050	12,039	13,771	12,008	12,039	11,317	13,235
	需用費	千円	7,263	6,903	7,389	6,368	7,420	6,007	7,004
	委託料	千円	4,176	3,453	4,527	5,652	5,969	5,847	7,525
	報酬	千円	420	448	420	308	420	364	420
	国・府支出金	千円	687	190	923	1,599	1,561	1,644	2,416
	財源内訳								
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円								
	市債	千円							
	その他(広告収入)	千円	476	444	503	484	484	475	475
	一般財源	千円	25,902	23,147	25,839	25,254	25,076	22,428	27,001
12	人件費 (b)	千円	10,171	10,171	10,660	10,660	9,157	9,157	11,359
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	37,236	33,952	37,925	37,997	36,278	33,704	41,251

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	妊産婦・乳幼児等の保健指導事業	シート番号	014-018
-------	-----------------	-------	---------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動実績や成果

		令和元年度実績					
活動実績と成果	14	<p>妊娠期から子育て期において健やかに生活できるよう、切れめのない保健指導を行っている。特に近年は、妊娠期から産褥期に手厚いサポートを行うことに注力している。保健師の妊産婦への家庭訪問のみならず、出産病院等医療機関と連携した支援を実施している。</p>					
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	保健師の妊産婦訪問延人数	人	目標値	2,200	2,200	2,200	2,200
			実績値	2,676	2,703	2,101	
			達成率	122%	123%	96%	
			評価	大変良い	大変良い	普通	
	算出方法・設定根拠など		早期からの支援が必要なおから、妊娠中からの家庭訪問延人数を計上している。				
	16	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	パパの育児教室参加者(父)	人	目標値	660	524	461	160
			実績値	524	461	410	
			達成率	79%	88%	89%	
			評価	少し悪い	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		より多くのパパに受けていただけるよう、回数を従来の5回より、平成28年度から6回に増やして実施。令和2年度目標値は、新型コロナウイルスの影響で1回分を中止、再開に向けては感染防止対策を講じた上で募集人数を大幅に減らした値を設定した。				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	保健師の妊産婦訪問延人数	人	2,676	2,703	2,101	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	30,886	35,442	31,130	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	11,542	13,112	14,817	
	備考(算出についての説明等)		②18の年間経費を除いたもの				
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①	パパの育児教室参加者(父)	人	524	461	410	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,066	2,555	2,574	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	5,851	5,542	6,278	
備考(算出についての説明等)		②委託費用					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)
19		<p>保護者に安心して子育てをしていただけるよう、また家族や地域全体の健康づくりのため、医師や保健師、助産師、歯科衛生士、栄養士などの専門職が必要に応じて様々な保健指導や相談、情報提供を行い、また関係機関と連携した切れめのない支援を行っている。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	妊産婦・乳幼児等の保健指導事業	シート番号	014-018
-------	-----------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 妊産婦や乳幼児、保護者等が正しい知識を身につけることで、健康を保持・増進し、保護者が安心して子育てをすることで、子どもが健やかに成長発達をする支援は市の取り組みとして不可欠である。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 健康づくり支援や子育て支援において、相談先となる事業運営は常時必要である。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 新型コロナウイルス感染拡大時には、事業を一定中止とし、それに伴う事業運営費用や委託費の見直しを行う。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 一定期間、集団形式を中止しすべて個別対応での体制に変更する。 試食などの直接感染にかかわる行為を一齐に中止する。 新型コロナウイルス感染症拡大状況下において、ビデオ通話等の補助的な活用。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 地域の育児サークルは地域のボランティアなどが中心となって運営し、保健センターは健康づくりなどの啓発や子育てに関する情報提供、育児相談を実施するなど、役割分担をしながら行っている。また、助産師による育児ひろばや宿泊型産後ケア事業、新生児訪問に関しては、大阪府助産師会や地域の助産師の協力を得ながら実施している。 他市においてもほぼ同様の事業を実施している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
	所見	今後も妊産婦、乳幼児、保護者が健やかに、また安心して子育てをしていただけるよう、事業を継続し実施する。		